

23日付、当地トリブナ紙は、クリチバ市セントロ地区に所在するルイ・バルボーザ広場(Praca Rui Barbosa)において浮浪者が多数居座り続け周辺にも影響が出ている旨報じているところ、概要以下のとおりです。

近頃、バスターミナルが併設するルイ・バルボーザ広場において、大勢の浮浪者が居座っているため注意が必要である。

浮浪者たちは公園内で飲酒やドラッグを使用しており、物乞いや通行人に絡む等の行為が見受けられ、中には通行人から飲食物を渡すよう激しく恐喝する者もいる。

治安悪化を憂慮したクリチバ市警備(Guarda Municipal)は公園内の監視カメラを使用し、モニタリングしており、映像で異常を覚知すれば駆けつける対策を取っている。今後、監視映像の死角をなくすため、URBS(クリチバ市都市化公社)が所有する監視カメラ映像も市警備側で共有したいとしている。

<留意事項>

・気温が暖かくなり、年末(クリスマス)が近づいてきたことで市内には物乞い行為が増えています。金銭を渡すため財布を取り出すと、財布を奪って逃走することもございますので十分注意が必要です。

同紙面上では公共施設において、浮浪者の存在を確認した場合、クリチバ市役所(156)へ連絡すると対応してくれることも記載しています。

・万が一強盗被害にあわれた場合は、速やかに軍警察(Policia Militar、電話番号190)に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察(Policia Civil、電話番号197)に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切であるとのことでした。

・また、被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と(個人情報をおふせた上で)情報を共有するためにも、当館(担当:警備班・領事班)へご連絡いただければ幸いです。